

## 琴似屯田に関わる 主な出来事

明治 2	蝦夷地を北海道と改称、北海道開拓使設置
明治 8	最初の屯田兵198戸が琴似に移住
明治 9	発寒に屯田兵32戸、琴似に10戸が移住
明治10	屯田兵第一大隊、西南の役に出征
明治13	手宮～札幌間鉄道開通
明治14	明治天皇の行幸(琴似屯田兵が警衛) 北白川宮能久親王が琴似兵村を視察
明治15	北海道開拓使廃止、発寒が琴似村に合併
明治19	北海道庁設置
明治24	屯田銀行(後の北海道銀行)が出来る
明治28	日清戦争で屯田兵に動員、講和条約で凱旋
明治30	屯田兵の『記念碑』建立、巡査駐在所が出来る
明治33	屯田兵の募集が中止
明治34	屯田兵の給与地を保存登記
明治35	琴似郵便局が出来る
明治37	屯田兵条例廃止 日露戦争に参加(203高地等)
明治39	発寒が琴似村に併合
明治44	琴似神社が現在の位置に移転
大正 4	琴似に電灯がつく、琴似小学校が全焼
大正 9	琴似村役場の新築移転
大正13	琴似兵村開基50年「記念塔、記念館」完成 「琴似兵村誌」刊行
昭和 9	札幌～小樽間に省営バスが開通
昭和11	昭和天皇は10月に行幸、陸軍大演習を実施 天皇に安孫子父子が屯田兵の事績を奏上
昭和15	陸軍屯田兵第一中隊本部跡に記念碑建立
昭和17	琴似村が町制を施行、琴似町となる
昭和26	手稲村が町制を施行、手稲町となる
昭和30	琴似町が札幌市と合併、琴似駅前大火
昭和39	兵屋を琴似神社境内に移築(道指定文化財)
昭和47	札幌市が政令指定都市に、西区役所が開設
昭和49	屯田兵村開基百年記念慰霊祭が開催 「琴似屯田百年史」刊行
昭和51	市営地下鉄、東西線(琴似～白石間)が開通
昭和61	JR函館本線に発寒駅・発寒中央駅が開業
昭和63	JR函館本線・札沼線が高架に、八軒駅が開業
平成元	西区から手稲区が分区
平成 2	西区の「個性ある街づくり事業」を開始
平成 5	市内初の全天候型のスポーツ施設が完成
平成 7	兵村開基120年慰霊祭を開催、記念碑を設置
平成10	屯田兵顕彰碑建立(記念塔の破損・解体)
平成14	屯田資料室拡充、神社の兵屋より資料を移管
平成17	屯田兵入村130年記念事業、パレード等を開催
平成27	屯田兵入村140年記念事業、歴史劇等を開催



資料室所在地

交通機関：地下鉄東西線 地下鉄琴似駅下車  
1番出口から徒歩5分

住 所：札幌市西区琴似2条7丁目 西区役所分庁舎  
琴似二十四軒まちづくりセンター 2階

☎ (011) 614-8245

開館日：月・水・金曜日(祝日、お盆、年末年始を除く)

開館時間：午前10時～午後4時

入 館：無料

NPO 法人

札幌郷土文化推進センター  
琴似屯田歴史館建設期成会

## 琴似屯田歴史館 資料室



札幌市西区役所分庁舎



琴似屯田兵顕彰碑 (屯田の森)

## 屯田兵村発祥の地

明治8～32年にかけて、開拓使は北海道に37か所の屯田兵村をつくり、総戸数7,337戸、家族を合わせて約4万人を入植させました。

琴似兵村はその最初で、明治7(1874)年に兵屋、週番所(中隊本部)、練兵場、授産所などを建設して兵村づくりを行い、明治8(1875)年5月に第一陣の屯田兵として東北などから198戸が入地しました。

翌年には、第二陣として、琴似兵村に10戸、発寒分村に32戸が入地しました。

屯田兵たちは、きびしい自然環境の中で、原始林を次々農地に作り変え、今日の西区のいしづえを築いたのです。

また、後の兵村づくりや実際の開拓に当たっては、琴似の経験が大いに生かされ、新設された兵村の指導者や開拓のリーダーを多く輩出しています。

## 「琴似屯田歴史館」の再建を願って！

かつて琴似神社境内には、屯田兵入植50年を記念して建てられた記念館と記念塔がありましたが、昭和29年に不審火により、記念館が焼失してしまいました。

また、記念塔は、老朽化のため平成10年9月に取り壊し、記念塔に代わるものとして、平成11年10月屯田の森に「琴似屯田兵顕彰碑」(写真：表紙面)を建立し、記念館の代替に、市庁舎の一部をお借りし「琴似屯田歴史館 資料室」として、資料の保存・展示等の活動をしています。

一方、私たちの悲願である「琴似屯田歴史館」の再建をめざして運動を続けているところです。

琴似屯田歴史館建設期成会  
NPO 法人 札幌郷土文化推進センター

「琴似屯田歴史館 資料室」は、屯田兵村発祥の地として、貴重な歴史資料を集めて保存・展示し、一般市民の閲覧と共に、今後においては、まちの記録を残し伝え続けていきたいと考えています。

## おもな収蔵品

農機具／鋤、鎌、プラウ、踏鋤、唐箕、千歯扱、通し山樵(きこり)用具／鋸、トビクチ、マサカリ、ツル、馬具／養蚕用具／家具／箆筒、ランプ、炬燵、火鉢、生活用具／水瓶、水桶、ヨシズ編機、糸繰り車、すり鉢、片口、竿はかり、弁鉢、ウス、キネ、粉挽弁、石臼、鉄瓶、蓑、かんじき、紋付羽織袴、ソロバン、文箱、筆箱、警防用具／刀、槍先、火縄式銃砲、軍服、軍隊ラッパ  
琴似の首長肖像画／初～18代、  
資料／図書・古文書等



琴似屯田歴史館資料室の内部



琴似神社境内にあった「記念館と記念塔」



入植当時の琴似屯田兵屋



北海道指定文化財 屯田兵屋(琴似神社境内)



文部省指定史跡 史跡琴似屯田兵村兵屋跡



明治8年入植時の絵画 (入植の姿 高野錦舟 作)